

平成19年9月7日

「鶴見駅東口地区第一種市街地再開発事業」に参画、超高層のタワーマンションを供給

■ニュースポイント■

- ・ナイス株式会社（社長・平田恒一郎、本社：横浜市）は、独立行政法人都市再生機構が平成12年度から推進する「鶴見駅東口地区第一種市街地再開発事業」の一環として計画されている超高層のタワーマンション（地上31階・地下1階建て、高さ約110m、居住戸数301戸）の住戸部分を保留床公募において落札し、8月10日に譲渡契約を締結いたしました。横浜市鶴見区において超高層のタワーマンションが供給されるのははじめてのことで、昭和46年の住宅分譲事業開始以来、36年間にわたってマンションを供給し、横浜市鶴見区内で累計3,300戸以上の供給実績を持つ弊社が地の利を生かして販売を行ってまいります。
- ・「鶴見駅東口地区第一種市街地再開発事業」（以下、再開発事業）は、「ゆめはま2010プラン」において産業と文化が融合する活気あふれる副都心と位置づけられたJR「鶴見」駅周辺地区で、ターミナル駅としての強化、地域コミュニティの核の形成、商業業務機能の集積、利便性の高い快適な都市型住宅の供給などの方針に基づいて計画が推進されています。具体的には、JR「鶴見」駅と京浜急行電鉄「京急鶴見」駅の間に位置する約12,370㎡の施行区域において、タワーマンション（地上3階までは駐車場など）のほか、横浜市の公益施設（区民文化センター、国際交流ラウンジ、コミュニティハウス）、商業・業務施設、ホテル、保育園が建設される予定です。
- ・再開発事業における建築設計は、株式会社石本建築事務所が実施し、設計・施工は株式会社竹中工務店が行う予定となっています。タワーマンションの計画は、住宅部分の専用床面積は約20,600㎡、1戸当たりの平均専用面積は約70㎡となります。また、地上31階建て、高さ約110mは横浜市鶴見区で最も高い建物となり、緑あふれる総持寺を真下に見すえ、上層階からは丹沢山系、富士山、東京都心部、房総半島、三浦半島までの眺望を楽しむことができます。再開発事業の着工は平成20年春で、竣工は平成22年の予定、弊社によるタワーマンションの販売開始は平成20年夏以降となる見込みです。

【当該建築物概要】

所在地：横浜市鶴見区鶴見中央1丁目35番

住宅部分専用床面積：約20,600㎡（約6,230坪）

計画概要：（住宅部分）鉄筋コンクリート造地上31階建て（高さ約110m）
総戸数301戸（予定）

事業主：ナイス株式会社

【ご参考：「鶴見駅東口地区第一種市街地再開発事業」計画概要】

施行者：独立行政法人都市再生機構

建築設計：株式会社石本建築事務所

設計・施工：株式会社竹中工務店（予定） ※特定業務代行公募により設計・施工業者に選定。

施行区域面積：約12,370㎡（横浜市鶴見区鶴見中央1丁目35番ほか）

地域地区等：商業地域、防火地域、高度利用地区

この件に関するお問い合わせ先*****

ナイス株式会社 経営推進本部 森・高橋 TEL：(045) 501-7930

〒230-8571 横浜市鶴見区鶴見中央4-33-1 ナイスビル8階